

大崎が首位決戦に快勝、オムロンも連勝伸ばす

～第37回日本ハンドボールリーグ・第8週～

第37回日本ハンドボールリーグ・第8週は10月27日に宮城などで男子4試合、女子3試合が行われ、男子は大崎電気がトヨタ車体との全勝対決を39-31と制して第1ステージを首位でUターン、女子はオムロンが順当に7連勝を飾り、2位を並走する北國銀行、広島メイプルレッズも2敗を守った。

男子注目の首位決戦、熊本での大崎-車体は積極的なディフェンスで車体にプレッシャーを与えた大崎がパスカットからの速攻を繰り返し、20点中9点を速攻で得点を重ね、大量9点のリードを奪って前半を終了。後半に入ると両チームが持ち味を發揮して素晴らしい攻防を展開、後半は光増らの活躍で20-19と車体が上回ったが、前半の大差を縮めるまでには至らず、39-31と快勝した大崎が単独首位に立った。

福井での北陸電力-大同特殊鋼は、大同が着実なボール回しから末松の得点などで13分8-3と先行、その後も主導権をキープして13-8と5点リードで前半を折り返した。後半に入り北電が杉山の7mスローなどで7分13-16と追い上げたあと、中盤はどちらもペースがつかめぬままゲームが進むが、大同は19分のタイムアウト後に武田らの3連打で23-16とリードを広げ、杉山、桜井らで食い下がる北電を28-21と突き放して3勝目をマークした。

宮城でのトヨタ自動車東日本-豊田合成は、東日本が崎前のミドルシュートなどで前半16分9-6と先行する場面もあったが、25分過ぎから中島、芳仲らの速攻で連続得点した合成が逆転に成功、17-14と3点リードで前半を終えた。後半開始早々、東日本が遠山のポストシュートなどで同点に並んだが、合成はトップディフェンス芳仲のパスカットや速いパス回しからの多彩なシュートで15分23-18と優位に立ち、東日本の追撃を振り切って2点差で勝利を取めた。

熊本でのオムロン-HC名古屋は、オムロンが手堅いディフェンスからの速攻で次々と得点を重ね、前半12分で7-2とリード。名古屋はたまたらタイムアウトを請求して流れを変えようと試みるが、オムロンの勢いを止めることができず16-6とオムロンリードで前半が終わった。後半もオムロンが14分過ぎまで8点を連取するなど完全に試合を支配、後半途中から控え選手を出場させる余裕の戦いで危なげなく全勝を守った。

鹿児島でのソニーセミコンダクター北國は、プレーオフ進出へ負けれない戦いが続くソニーが4分過ぎから山野らで4連取して5-2と先行したが、攻守とも安定した布陣を敷く北國はディフェンスが機能してリズムをつかみ、鯨場、上町らで6点を連取して15分8-5と逆転に成功。その後も北國ペースは変わらず15-8で前半を終了した。後半に入ってソニーは高橋の奮戦などで必死に挽回を図るが、前半の7点ビハインドが大きいのしかかり、小野澤、八十島らで着実に加点した北國が23-17で逃げ切った。

次週は愛知などで男子のみ3試合が行われ、ここまで3勝1分4敗で5位と苦しい展開の前回王者・大同が巻き返しを狙って3位の湧永と対戦、首位の大崎は北電、2位の車体は合成を相手に力の差を見せつけるか。女子は第14回女子アジア選手権(12月7~16日・インドネシア)のためにブレイク期間に入り、熱戦再開は来春1月12日からになる。



④3勝目をマークした大同特殊鋼・野村
⑤接戦をものにした豊田合成・野田

第9週の日程

11月2日(金)	愛知	ウイングアリーナ刈谷(名古屋本線富士松駅徒歩15分)	19:00~	(男)	トヨタ車体×豊田合成
11月3日(土)	栃木	栃木市総合体育館(東武日光線新栃木駅車10分)	14:00~	(男)	湧永製薬×大同特殊鋼
11月4日(日)	岩手	花巻市総合体育館(JR東北本線花巻駅車10分)	14:00~	(男)	大崎電気×北陸電力

湧永が紡織を退け3位を守る

佐賀でのトヨタ紡織九州-湧永製薬は前半15分9-7と先行した湧永に対し、紡織が海道、村上秀らで連続得点を決めて逆転に成功、前半を15-13と先行して折り返した。後半も前半同様に点を取り合う展開が続き、めまぐるしく主導権が入れ替わったが、試合を決めたのは20分過ぎからの湧永の粘り強さ。湧永は手堅い守りで失点を食い止める一方、成田らで着実に加点して混戦を抜け出した。

三重での三重バイオレットアイリス-広島メイプルレッズは、三重が6分6-1と好スタートを切ったが、このあと広島が宋の3本の7mスローなどでじりじりと追い上げ20分9-8と逆転。後半に入ると三重はミスから速攻で得点を許す場面が多くなり、8分過ぎから6連取した広島が一気に勝負を決めた。この試合で広島・新城が通算200得点を達成した。

◆ 10月27日(土) 男子
宮城・大和町総合体育館

豊田合成 26 (17-14) 24 トヨタ自動車 東日本 1勝0分7敗
2勝2分4敗
0/0 榊原 永瀬 K
0/0 原 郷古 0/0
4/10 野田 遠山 3/4
0/0 黒木 齊藤 0/0
1/2 大橋 吉田 4/8
2/5 桶谷 藤謙 0/0
0/0 湯脇 中川 0/0
7/10 中島 関口 K
3/3 長島 桑名 4/6
0/0 加藤 佐藤文 4/6
<0/1> K 藤田 崎前 2/8 3/3
3/6 今村 村上 4/12
2/4 中村 仲野
4/8 芳仲
<0/2> K 藤本
0/0 米堂

0/0 26/48 5(FPP)7 21/44 3/3
シュート阻止率
0.467 7/15 藤田 永瀬 0/0 0.000
0.409 9/22 藤堂 関口 12/38 0.316

0.432 16/37 (GK) 12/38 0.316
審判(小川・内記) 観客 615人

◆ 10月27日(土) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

大同特殊鋼 28 (13-8) 21 北陸電力 1勝0分7敗
3勝1分4敗
K 田中 神田 0/1
6/8 棚原 切越 3/8
2/2 3/9 野井 桜井 1/2
6/10 末松 前田 0/0
0/0 浦田 杉山 7/9 1/1
0/0 渡久 落合 3/5
1/2 地引 小川 0/1
7/11 武川 廣瀬 K <0/1>
0/1 岸川 山原 2/6
<0/1> K 久保 瀬戸 0/0
2/4 加藤 川添 K <0/1>
1/3 山城 赤塚 3/8 1/1
<0/1> K 東 佐々木 0/0
0/0 下村 有江 K
榊田 0/0

2/2 26/48 8(FPP)13 19/40 2/2
0.000 0/0 田中 廣瀬 10/31 0.323
0.345 10/29 久保 川添 0/5 0.000
0.000 0/0 東 有江 0/0 0.000

0.345 10/29 (GK) 10/36 0.278
審判(本田・田淵) 観客 354人

◆ 10月27日(土) 女子
三重・三重県営鈴鹿スポーツガーデン体育館

広島メイプルレッズ 32 (14-10) 17 三重バイオレットアイリス 2勝0分5敗
5勝0分2敗
2/2 K 堂面 浅井 K <1/5>
1/8 2/3 増田 橋山 1/3
2/2 河田 阿久田 1/3 2/2
2/3 大前 富田 0/0
4/5 4/11 宋海林 石坂 1/5
1/1 塩見 飯田 0/2
2/3 早川 石川 0/0
0/0 安齋 毛利 K <0/2>
0/1 塩田 黒川 0/0
5/7 高山 漆畑 2/6
<0/2> K 田口 藤 0/0
5/7 新城 伊小 0/3
2/2 加藤 万早 4/10 5/10

6/7 26/48 10(FPP)11 15/44 2/2
0.000 0/6 堂面 浅井 2/11 0.182
0.710 22/31 田口 毛利 13/30 0.433

0.595 22/37 (GK) 15/41 0.366
審判(貝沼・須原) 観客 710人

◆ 10月27日(土) 男子
佐賀・神埼中央公園体育館

湧永製薬 33 (13-15) 28 トヨタ紡織九州 2勝2分4敗
6勝0分2敗
<0/1> K 志水 松野 K
2/4 谷村 中島 5/10
0/0 木村 西端 2/2
0/0 坂本 上田 0/0
3/4 成田 松信 1/1
1/1 東江 村上秀 5/12
4/5 佐藤 呉相民 0/2
0/0 名嘉 佐久間 0/0
1/1 7/12 樋口 村上勝 0/0
6/7 新海 海道 3/3
3/4 仁平 柳 1/1 1/1
3/3 今井 下野 K <0/1>
<0/2> K 松村 藤本 0/0
0/2 古家 鈴木 6/10
3/4 中浦 藤山 1/5 2/2
0/0 新名 石黒 1/3

1/1 32/46 11(FPP)4 25/49 3/3
0.333 9/27 志水 松野 2/18 0.111
0.222 2/9 松村 下野 4/20 0.200

0.306 11/36 (GK) 6/38 0.158
審判(池淵・檜崎) 観客 840人

◆ 10月27日(土) 女子
熊本・熊本県立総合体育館

オムロン 32 (16-6) 14 HC名古屋 0勝0分7敗
7勝0分0敗
K 藤間 近藤 K <0/1>
6/6 澤田 池田 1/1
0/0 卷 伊藤 1/2
0/2 稲葉 福井 5/16
3/3 3/5 藤井 立井 高橋 3/4
3/3 石井 高橋 0/2
0/0 吉田 細田 3/10
1/3 相澤 阪本 0/0
1/1 永藤 藤田 0/0
K 山中 上野 0/1
4/4 勝連 上村 0/0
1/2 前田 家村 K <0/3>
1/1 0/0 吉田 山内 1/1
4/8 東濱 横井 0/0
0/0 松本 戸塚 0/0
5/5 金且妍 金塚 0/0

4/4 28/39 6(FPP)13 14/37 0/0
0.710 22/31 藤間 近藤 11/37 0.297
0.167 1/6 山中 家城 0/2 0.000

0.622 23/37 (GK) 11/39 0.282
審判(浦川・石崎) 観客 750人

◆ 10月27日(土) 男子
熊本・熊本県立総合体育館

大崎電気 39 (20-11) 31 トヨタ車体 7勝0分1敗
8勝0分0敗
0/1 浦和 木下 K <1/3>
1/2 小澤 笠原 0/1
6/9 豊田 石戸 5/11
6/9 宮崎 高智 0/1
3/4 3/7 東長濱 横地 2/3
2/3 永島 藤本 2/7
3/3 小室 藤田 2/2
0/0 馬場 高木 1/1
0/1 森 木切倉 1/2
2/2 岩永 富田 7/9
1/3 内田 光増 3/5
2/4 猪妻 鶴谷 1/4
4/8 石川 香川 1/2
<1/2> K 吉田 崎前 4/7
3/3 時村 渡部 1/3 1/2
3/9 信太 甲斐 K <0/1>

3/4 36/64 9(FPP)4 30/58 1/2
0.436 17/39 浦和 木下 4/15 0.267
0.200 2/10 吉田 甲斐 11/36 0.306
0.388 19/49 (GK) 15/51 0.294
審判(家永・福島) 観客 1020人

◆ 10月27日(土) 女子
鹿儿岛・霧島市国分体育館

北國銀行 23 (15-8) 17 ソニーセミコンダクタ 2勝0分5敗
5勝0分2敗
<1/4> K 寺田 山野 2/10 4/5
2/4 2/4 鯨場 山田 1/2
3/6 3/6 上野 高橋 2/3
0/0 翁長 田中 1/6
1/2 石野 山田 0/0
1/2 田邊 儀間 0/2
4/5 小野澤 古川 0/0
3/3 横嶋 川崎 0/0
2/4 後藤 黒木 0/0
0/0 翁長 飛石 K <0/1>
<0/1> K 田代 井井 3/5
3/4 八十島 鎌倉 0/0
2/3 若松 南 K <1/2>
錦織 4/5
藤井 0/0
内富 0/0

2/3 21/33 9(FPP)7 13/33 4/5
0.000 0/0 寺田 飛田 8/28 0.286
0.519 14/27 田代 南 0/1 0.000
0.519 14/27 (GK) 8/29 0.276
審判(黒木秀・黒木龍) 観客 513人

チャレンジ・ディビジョン開幕

第4回チャレンジ・ディビジョンが熱戦をスタート。10月27日愛知でAブロックの2試合が行われ、トヨタ自動車とHC岐阜が開幕戦を白星で飾った。

Aブロックの2節は11月4日に岐阜で12:00~HC春日井-岐阜聖徳学園大学、14:00~HC岐阜-同朋クラブの2試合、11月3日から開幕するBブロックは三重で10:00~Honda-HC・MKA奈良、13:00~Honda-八光自動車、15:00~TOYAMA選抜-HC・MKA奈良の3試合が行われる。

両ブロックとも来年1月13日までにリーグを終えたあと1月26、27日に愛知で決勝トーナメントと順位決定戦を行なう。

10月27日愛知・大同特殊鋼体育館

トヨタ自動車 41 (19-3) 12 同朋クラブ
22-9

H C 岐阜 30 (16-11) 23 H C 春日井
14-12

男女個人ランキング 第8週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	59点	(8試合)	1 藤井 紫緒 (オムロン)	48点	(7試合)
2 中島 晋太郎 (豊田合成)	50点	(8試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	45点	(7試合)
3 村山 裕次 (琉球コラソン)	48点	(8試合)	3 高山 智恵 (メイプルレッズ)	43点	(7試合)
4 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	46点	(8試合)	4 宋 海林 (メイプルレッズ)	41点	(7試合)
5 渡部 仁 (トヨタ車体)	44点	(8試合)	5 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	39点	(7試合)
6 新建 二 (湧永製薬)	43点	(8試合)	6 新城 明奈 (メイプルレッズ)	38点	(7試合)
6 宮崎 大輔 (大崎電気)	43点	(8試合)	7 八十島 智美 (北國銀行)	33点	(7試合)
8 鈴木 済 (トヨタ紡織九州)	42点	(8試合)	8 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	30点	(7試合)
9 富田 恭介 (トヨタ車体)	41点	(8試合)	9 勝連 智恵 (オムロン)	29点	(7試合)
9 赤塚 孝治 (北陸電力)	41点	(8試合)	10 早川 志歩 (メイプルレッズ)	26点	(7試合)
11 東長濱 秀希 (大崎電気)	39点	(8試合)	10 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	26点	(7試合)

フィールド得点

1 中島 晋太郎 (豊田合成)	50点	(8試合)	1 高山 智恵 (メイプルレッズ)	41点	(7試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	48点	(8試合)	2 新城 明奈 (メイプルレッズ)	34点	(7試合)
3 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	47点	(8試合)	3 八十島 智美 (北國銀行)	33点	(7試合)
4 新建 二 (湧永製薬)	43点	(8試合)	4 勝連 智恵 (オムロン)	29点	(7試合)
4 宮崎 大輔 (大崎電気)	43点	(8試合)	4 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	29点	(7試合)
4 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	43点	(8試合)	4 藤井 紫緒 (オムロン)	29点	(7試合)
7 鈴木 済 (トヨタ紡織九州)	42点	(8試合)	4 宋 海林 (メイプルレッズ)	29点	(7試合)
8 富田 恭介 (トヨタ車体)	41点	(8試合)	8 上町 史織 (北國銀行)	28点	(7試合)
9 武田 享 (大同特殊鋼)	36点	(8試合)	9 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	26点	(7試合)
10 渡部 仁 (トヨタ車体)	35点	(8試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行)	25点	(7試合)
			10 早川 志歩 (メイプルレッズ)	25点	(7試合)
			10 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	25点	(7試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 富田 恭介 (トヨタ車体)	41点/ 55射	0.745	1 横嶋 かおる (北國銀行)	25点/ 30射	0.833
2 新建 二 (湧永製薬)	43点/ 63射	0.683	2 八十島 智美 (北國銀行)	33点/ 43射	0.767
3 渡部 仁 (トヨタ車体)	35点/ 53射	0.660	3 勝連 智恵 (オムロン)	29点/ 38射	0.763
4 鈴木 済 (トヨタ紡織九州)	42点/ 68射	0.618	4 新城 明奈 (メイプルレッズ)	34点/ 49射	0.694
5 中島 晋太郎 (豊田合成)	50点/ 83射	0.602	5 錦織 新 (ソニーセミコンダクタ)	29点/ 42射	0.690
6 宮崎 大輔 (大崎電気)	43点/ 75射	0.573	6 高山 智恵 (メイプルレッズ)	41点/ 62射	0.661
7 武田 享 (大同特殊鋼)	36点/ 66射	0.545	7 早川 志歩 (メイプルレッズ)	25点/ 38射	0.658
8 村山 裕次 (琉球コラソン)	48点/ 95射	0.505	8 石井 宏実 (ソニーセミコンダクタ)	26点/ 41射	0.634
9 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	47点/ 105射	0.448	9 藤井 紫緒 (オムロン)	29点/ 48射	0.604
10 上野 承太 (トヨタ自動車東日本)	43点/ 117射	0.368	10 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	25点/ 42射	0.595
			11 上町 史織 (北國銀行)	28点/ 55射	0.509
			12 宋 海林 (メイプルレッズ)	29点/ 59射	0.492

7mスロー得点

1 東長濱 秀希 (大崎電気)	14点	(8試合)	1 藤井 紫緒 (オムロン)	19点	(7試合)
2 東長濱 秀作 (琉球コラソン)	12点	(8試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	17点	(7試合)
3 樋口 睦 (湧永製薬)	10点	(8試合)	3 山野 由美子 (ソニーセミコンダクタ)	15点	(7試合)
4 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	9点	(8試合)	4 宋 海林 (メイプルレッズ)	12点	(7試合)
4 渡部 仁 (トヨタ車体)	9点	(8試合)	5 増田 寛那 (メイプルレッズ)	8点	(7試合)
4 赤塚 孝治 (北陸電力)	9点	(8試合)	6 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	7点	(7試合)
7 崎前 健治 (トヨタ自動車東日本)	7点	(8試合)	7 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	6点	(7試合)
7 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	7点	(8試合)	8 阿久田 実咲 (バイオレットアイリス)	5点	(7試合)
9 柳 匠 郎 (トヨタ紡織九州)	5点	(8試合)	9 新城 明奈 (メイプルレッズ)	4点	(7試合)
9 野田 祐希 (豊田合成)	5点	(8試合)	10 吉田 起子 (オムロン)	3点	(6試合)
11 東江 太輝 (湧永製薬)	4点	(8試合)	10 翁長 茉莉枝 (北國銀行)	3点	(7試合)

シュート阻止率 (フィールドシュートを受けた数が、男子9位・女子6位以内のGKが対象)

1 浦和 克行 (大崎電気)	108本/ 260射	0.415	1 田口 舞 (メイプルレッズ)	81本/ 148射	0.547
2 甲斐 昭人 (トヨタ車体)	85本/ 206射	0.413	2 藤間 かおり (オムロン)	105本/ 195射	0.538
3 藤堂 聖二 (豊田合成)	63本/ 168射	0.375	3 田代 ひろみ (北國銀行)	89本/ 190射	0.468
4 久保 侑生 (大同特殊鋼)	78本/ 222射	0.351	4 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	89本/ 221射	0.403
5 石田 孝一 (琉球コラソン)	99本/ 285射	0.347	5 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	49本/ 134射	0.366
6 志水 孝行 (湧永製薬)	81本/ 239射	0.339	6 近藤 澄江 (H C 名古屋)	73本/ 217射	0.336
7 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	80本/ 251射	0.319			
8 廣瀬 騎優 (北陸電力)	50本/ 162射	0.309			
9 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	119本/ 403射	0.295			

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 久保 侑生 (大同特殊鋼)	5本/ 12射	0.417	1 南 裕子 (ソニーセミコンダクタ)	6本/ 10射	0.600
2 志水 孝行 (湧永製薬)	6本/ 15射	0.400	2 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	5本/ 9射	0.556
3 木下 国大 (トヨタ車体)	3本/ 8射	0.375	3 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	9本/ 23射	0.391
4 廣瀬 騎優 (北陸電力)	5本/ 15射	0.333	4 藤間 かおり (オムロン)	5本/ 13射	0.385
5 内田 武志 (琉球コラソン)	4本/ 16射	0.250	5 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	5本/ 14射	0.357
6 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	3本/ 13射	0.231	6 田口 舞 (メイプルレッズ)	3本/ 9射	0.333
7 藤堂 聖二 (豊田合成)	2本/ 11射	0.182	7 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	5本/ 25射	0.200
			8 家城 千香 (H C 名古屋)	3本/ 16射	0.188

第 37 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第8週第1日終了 10月27日

順位	男子	大崎電気	トヨタ車体	湧永製薬	琉球コラソン	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	豊田合成	トヨタ自動車東日本	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	8	0	0	16	283	203	80
2	トヨタ車体	●	○	○	○	○	○	○	○	○	8	7	0	1	14	277	217	60
3	湧永製薬	●	●	○	○	○	○	○	○	○	8	6	0	2	12	240	207	33
4	琉球コラソン	●	●	●	○	○	△	○	○	●	8	3	1	4	7	202	209	-7
5	大同特殊鋼	●	●	●	●	△	△	○	○	○	8	3	1	4	7	215	205	10
6	トヨタ紡織九州	●	●	●	●	△	△	△	○	○	8	2	2	4	6	231	228	3
7	豊田合成	●	●	●	△	●	△	○	○	○	8	2	2	4	6	207	229	-22
8	トヨタ自動車東日本	●	●	●	●	●	●	●	○	○	8	1	0	7	2	183	301	-118
9	北陸電力	●	●	●	○	●	●	●	●	○	8	1	0	7	2	209	248	-39

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッズ*	ソニーセミコンダクタ	三重ハイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	○	○	○	○	○	○	7	7	0	0	14	191	113	78
2	北國銀行	●	○	○	○	○	○	7	5	0	2	10	184	126	58
3	広島メイプルレッズ*	●	●	○	○	○	○	7	5	0	2	10	198	158	40
4	ソニーセミコンダクタ	●	●	●	●	○	○	7	2	0	5	4	159	158	1
5	三重ハイオレットアイリス	●	●	●	●	●	○	7	2	0	5	4	116	194	-78
6	H C 名 古 屋	●	●	●	●	●	●	7	0	0	7	0	100	199	-99

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。